

京田辺市

地震ハザードマップ
《揺れやすさマップ》

裏面
地震ハザードマップ
地域危険度
マップ

このマップについて

》このマップは、発生が想定されている地震に関する情報（震源の位置・地震の規模）と、地形や地盤の状況から計算した想定震度の分布を示した図です。

》近隣地域の活断層で、地震が発生した場合に京田辺市への影響が大きいと考えられることから、「生駒断層」を想定地震としました。

》計算は、約50m四方の「メッシュ」を単位として行なっています。ご自宅の周辺や普段からよく行かれる場所などについて、想定される揺れの大きさを確認してください。

災害時の情報伝達

〈災害伝言ダイヤル「171」〉

地震などの災害時には、設備が被害を受けていなくても、通話が短時間に集中することで電話がつながりにくくなります。安否確認などの連絡に、伝言ダイヤル「171」が利用できます。

伝言を登録する

伝言を聞く

ダイヤル 1711

→ 音声案内にしたがって 1

→ 0774-xx-xxxx（被災者の電話番号）

ダイヤル 1711

→ 音声案内にしたがって 2

→ 0774-xx-xxxx（被災者の電話番号）

また、携帯電話のメール機能は、通話にくらべてつながりやすいので、普段から扱いに慣れていると役に立ちます。

〈情報をお寄せください〉

災害時には、市役所などの行政機関も、地域の情報を得ることが普段より難しくなってしまいます。

・道路が破損して自動車が通れなくなっている

・水道が出ない、水道管が破損して水が漏れている

などの被害がありましたら、場所（住所や目標物）を市役所までお知らせください。

京田辺市

安心まちづくり室

TEL：0774-64-1307

令和3年2月作成

わが家の防災メモ

》家族で決めた集合場所

》家族で決めた連絡方法

》家族で決めた約束事

》家族の連絡先

名 前	連絡先(会社・学校)	携帯電話番号

》持ち出し品チェック

☐懐中電灯

☐飲料水
(1人1日3リットル)
・非常食

☐医薬品

☐衣類
(肌着類も)

☐貴重品、現金
※小銭は公衆電話
などに便利です

想定した地震

京都府が実施した地震被害想定調査では、京都府および周辺地域に位置する22か所の活断層で発生する地震と、海溝型地震の「東南海・南海地震」、「南海トラフ地震」を加えた計24種類の地震について検討結果を公表しています。

その結果、京田辺市で特に大きな揺れを生じさせる地震としては、活断層型では「生駒断層」で発生する地震、海溝型では「南海トラフ地震」が挙げられます。

郷村断層

山田断層

上林川断層

三峠断層

殿田・神吉・越地断層

亀岡断層

塙生断層

光明寺金ヶ原断層

有馬高橋構造線

宇治川断層

上町断層

若狭湾内断層

花折断層

琵琶湖西岸断層

桃山・鹿ヶ谷断層

黄栗断層

和束谷断層

木津川断層

奈良盆地東縁断層

生駒断層

南海トラフ地震の想定震源域

揺れやすさマップ

南海トラフ地震
(マグニチュード9.0)

出典

内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」が検討し、京都府が公表している結果を整理して表示しています。

0 200 1,400,000 2,000m

揺れやすさマップ

いこまだんそう 生駒断層での地震
(マグニチュード7.5)

出典

京都府が実施したシミュレーション結果(250mメッシュ)を基に、京田辺市が再検討を行った結果を示しています。

》この地図の見方

指定避難所

一時避難所

福祉避難所

公民館・集会所

市役所

警察署

消防署

救急医療機関

》震度と揺れの目安

震度階級

計測震度

イメージ

目 安

震度5弱

震度5強

震度6弱

震度6強

震度7

●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。

●棚にある食器類や本が落ちることがある。

●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

●物につかまらなと歩くことが難しい。

●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。

●固定していない家具が倒れることがある。

●補強されていないブロック塀が崩れることがある。

●立っていることが困難になる。

●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。

●ドアが開かなくなることがある。

●窓のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

●耐震性の低い木造建物は、壁が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。

●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。

●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。

●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。

●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多くなる。